

北海道教育推進計画

2023年度～2027年度
(令和5年度～令和9年度)

【素案】



北海道教育委員会

HOKKAIDO BOARD OF EDUCATION

(素案の趣旨)

- 本素案は、次期計画期間の北海道教育推進計画の策定に向けて、道民の皆様に広く御意見をいただくためのものとして、現在調整中の項目を含めて整理したものです。
- 本素案により、パブリックコメントや各種団体への意見照会などを行い、2023(令和5)年2月に原案を取りまとめる予定です。

「北海道教育委員会ロゴマーク」

北海道教育委員会を国内外に広くPRするとともに、北海道教育委員会におけるグローバル人材育成に向けた取組のより一層の推進を図るためのシンボルとして、北海道、北海道教育委員会及び子どもたちを象徴的に表現するロゴマークを2021(令和3)年1月に制定し、北海道教育委員会の事務・事業や広報活動等において広く使用しています。

(シンボルマークについて)

北海道の形状を抽象化し、三角形で構成された3つの集合体により、左から順に「山」、「大地」、「島々」を表しています。

「大地」の中心から各方向に伸びる白線は、世界に向けて開かれた北海道や、北海道教育委員会として子どもたちに身に付けてほしいと願う「ふるさとを想い、グローバルな視野で共に生きる力」を象徴するとともに、雪の結晶(六花)を想起させ、北海道のイメージとして親しみのある雪や氷を表現している。さらに、右上の「島々」も、空から降る雪の結晶を連想させるよう配置しています。

また、幾何学模様により「真摯さ」や「堅実さ」をイメージさせる一方、4つの色彩により、全体に温かく優しい印象を持たせている。色彩はそれぞれ、紺色が教育委員会の「誠実さ」や「知的さ」を、緑色が北海道の「雄大な山々・森林」や「癒しを与える優しさ」を、水色が「澄んだ空・海・川」や「爽やかさ」を、黄色が子どもたちの持つ「明るさ」や「親しみやすさ」、「好奇心」を象徴しています。



**HOKKAIDO
BOARD OF
EDUCATION**

